

令和6年度第5回 羽村市立武蔵野小学校コミュニティ・スクール委員会会議録

1 日 時	令和7年2月25日(火曜日)午後5時
2 場 所	羽村市立武蔵野小学校 会議室
3 出席者	副会長 山田 竜也(羽村市武蔵野小学校PTA 前会長) 校長 府金 博之 委員 松崎 博満(エコネットはむら 会長) 副校長 川上 功一 山本 一代(チューリップ保育園 理事長) 三中校区地域コーディネーター 嘉陽 義明 推進委員 松原 邦宜(株ミタカロジスティクス 取締役) (敬称略)
4 欠席者	会長 大橋 徳久(西東京リサイクルセンター 取締役)
5 議題	(1) 令和6年度学校経営報告について (2) 令和7年度教育計画について (3) 人財バンクについて
6 傍聴者	無し
7 配布資料	・令和6年度 羽村市立武蔵野小学校 学校経営報告(学校評価報告書)(資料A) ・令和7年度 羽村市立武蔵野小学校 学校経営方針<ランドデザイン案> (前回提示済み) ・武蔵野小コミュニティ部隊(仮)登録者一覧表(資料B) ・広報「むさしのコミュニティ」第1号(資料C)
8 会議の内容	(1) 令和6年度学校経営報告及び(2)令和7年度教育計画について ・子供たちが自信をもって行動できるように、引き続き様々な角度からの取り組みを続けていく。 ・「文章を書く」という点については、まだ十分な成果が得られているわけではないので、ねばり強く指導を続けていく。 ・地域人財を活用した授業の充実については、コミュニティ部隊(仮)の設立等、徐々に可能性がふくらんでいるが、これからの更なる取り組みが必要である。 ・読書の習慣化に向けて取り組みを強化したり、図書室の活用促進に向けて手立てを明確にしていく。 ・継続して学習を続ける姿勢や、むさしのリーダーシップの習慣を身につけていく態度を着実に身につけさせていく。 (3) 人財バンクについて (3)の内容については以下の通り

【武蔵野小コミュニティ・スクール委員会の歩んでいる具体的な取り組みについて、振り返ることを通して、次なる方向性を見極めていく話し合い】

大切なポイント [話し合ってきたことを具現化した取り組みの結果を、冷静に見つめ直し、今後実施していく活動が、より確実に価値の高い方向につながるよう、検討を深める]

「吹奏楽部」の活動の現状については？

- ・一定期間は指導協力人財が確保できたが、今後のことを考えると、地道に人財確保に向けた呼びかけを続けることが大切だと思う。
- ・子供たちが困る状況をつくらないことだけは、肝に銘じたい。



地域人財を活用した1年生「昔あそび」については、コミュニティ・スクール委員会として手ごたえを感じる授業実践だった。

- ・大勢の地域協力があったことが、授業の活性化につながった。
- ・子供たちにとっても、また地域の皆さんにとっても、大きなプラスの効果（大勢の地域の人に教えてもらい、嬉しかった！元気な子供たちから、たくさんパワーをもらえた！）がある取り組みとなった。
- ・地域の皆さんの中には、高齢の方もいらっしゃることを常に念頭において、配慮に徹した活動形態を今後も考えていく必要がある。

次年度、学校全体として、より充実した地域人財活用授業をすすめていくためには、どのような手立てをとることが必要だろうか。

- ・「このような授業を実践したい」という、先生方が考えている“子供たちのために授業の幅を広げたい”“質を高めたい”というチャレンジ精神に、極力こたえてあげられるようにしていく必要がある。
- ・先生方とコミュニティ・スクール委員との話し合いの場を設定していくことが大切だ。  
(先生方の熱い思いを、しっかりと受け止められるような雰囲気をつくりたい。)
- ・各学年ごとに、地域人財が必要な授業実践の時期を、なるべくはやく把握しておきたい。  
(適した地域人財を探す・頼む・集めるには、ある程度時間が必要だ。)



武蔵野小コミュニティ・スクール部隊（仮）の人数が徐々に増えてきたが・・・。  
（現在 52 名）



- ・1年生「昔あそび」からもわかるが、学校での子供たちとのより良いふれあいがあれば、協力者はおのずと増えてくるように思う。
- ・実際に、多くの協力者を集めるように動いてくださった町内会長・自治会長さんとの連携を、今後も大切にしていきたい。
- ・登録してくださった方に対して、今後、具体的にどのように協力してもらうか、十分に考えていく必要がある。
- ・これからも子供たちとふれあう活動を通して、また、武蔵野小学校と関わる具体的な取り組みを通して、協力者を大勢集めていく姿勢を大切にしていこう。

広報紙「むさしのコミュニティ」第1号の原稿が出来ましたが・・・。

- ・全児童に配布して、保護者への呼びかけを続けていきたい。
- ・町内会長、自治会長を通じて、地域への周知を図りたい。
- ・子供たちと地域の方や保護者との関わりを、学校だよりとはちがう、コミュニティ・スクール委員会という目から、広く様子を知らせていくことの意味合いや効果について、今後も十分にチェックしていきたい。



武蔵野小学校と羽村第三中学校では、コミュニティ・スクール委員会の進め方・取り組み方に違いはあっても、今後も同じ第三中学校区の2校が、互いに連携をとっていけるように取り組んでいきたいと思います。



武蔵野小学校での、土曜日等を活用した遊びの場所づくりに向けて、具体的な実施案を作成していこう。



学校の環境づくり（パッションフルーツを育てる活動を通じた、グリーンカーテン作り等）を実現していく等、子供たちにとって、また保護者・地域の人にとって、武蔵野小がこれまで以上により大切な存在になるようにしていこう。

読書旬間での地域人財活用が、日常での本の読み聞かせへと発展・継続できるようにしていこう。

コミュニティ・スクール委員同士が、互いに思いを言い合える雰囲気、これからも大切にしていきたいと思います。

先生方の思いや意見を吸い上げられるような場づくりを大切につくっていこう。（地域人財の大まかな年間計画が出来ると、より良いと思う。）